



発行日 令和2年10月1日

事務所〒475-0828 半田市瑞穂町5-3-18

連絡所〒475-0078 半田市新池町2-201-22

### 半田市の土曜・祝日保育ニーズ調査結果

対象5920名から… 1000名を抽出… 67.4%が回答



資料：半田市ホームページより作成

## やっぱり日・祝日保育は必要!!



### 休日保育を求める声は多数です

少子化対策として平成24年に子ども子育て支援法が成立し、今年で8年目。支援計画は、第2期が始まっています。子育て支援が充実する一方で、進んでいないのが休日(日曜日・祝日)の保育です。

自治体は計画策定段階で対象とする家庭のニーズを調査しています。この結果から、母子父子家庭が1割程度、祖父母同居家庭は2割程度といった、核家族化の実態が把握されています。この家庭環境で、仕事と子育ての両立に欠かせない休日保育についてのニーズも調査しています。そして、休日保育に対して、対象家庭の20%、1000人規模の希望があることが解っています。(上のグラフ参照)

### 多くの近隣市町で導入しています

核家族化などの家庭環境は、近隣市町のニーズ調査でも同様の結果です。これを反映し、休日保育は県内25の自治体で行われています。(地図参照) ニーズ調査では多くの方が休日保育を必要としています。その必要度合いは様々です。これに対し供給する側に、供給基準がありません。自治体それぞれが、財政・供給体制等を勘案し、利用調整を図っています。

その結果、追加保育料を徴収せずに実施している自治体が多いようです。名古屋・一宮・稲沢・長久手・岡崎・刈谷・安城・西尾はこの対応です。



他は、千円ほどの利用料を設けている自治体認定のために書類提出を求め審査している自治体もあります。

刈谷市では、平日の振替として無料の休日保育を5つの園で実施をしています。昨年度の利用率は、在籍者の11%のごとです。ニーズ調査で確認した人数の3分の1に対して、休日保育を提供したことに成ります。

### 半田市の休日保育は現在ゼロです

一方半田市では、利用調整の段階でニーズはなかったとして、休日保育を実施していません。仕事と育児の両立のため、切実な思いで申請した方々にも、休日保育を認めていません。公的に行った調査で、一定のニーズがあったにもかかわらず、ゼロの回答です。

同様の調査に基づいて休日保育を実施する自治体が多数ある中で、半田市は独自の基準を設け実施しない道を選択しています。何故!!

そこで、休日保育を求める背景などを直接確認するために、自治体の調査と同様の設問で独自に調査を実施しました。この結果、行政が行った調査と類似したニーズの把握、子育て世代の意見や希望を確認することができました。

独自の調査でも半田市の調査と同様の結果を確認できました…

独自調査は、製造業・流通業などの労働組合にご協力頂き、343名の回答を集め、半田市の調査と類似した結果を確認できました。(左のグラフ)

土曜日の保育ニーズは、約3割でした。日祝は、日曜日と祝日を区別してお聞きしました結果、日曜日17.8%・祝日30.4%で、より一層現実的なニーズの把握ができました。祝日は出勤日としている職場が多数あり、様々な状況を反映している結果でした。

### 改めての土日祝・祝日保育ニーズ調査結果

未就学児のいる家庭を調査… 343名から回答



QRコードから  
ご覧下さい

左のQRコードからの月議会の一般質問をご覧ください。

必要とする理由も伺いました。「祝日は会社休業日ではなく、子育てと仕事の両立が難しい」「はんだっこしか選択肢がない。祝日は一部の保育園だけ開園して、希望者は預けられるなどの制度が欲しい」「わが家は、両親が近くにいらないため、親だけ子どもを見ている。親の余裕がないと健全な育児は出来なう」といいます。

9月議会での進展はありませんでしたが引き続き取り組みます。

みなさんから頂いた声を力に、この内容を9月議会の一一般質問で取り上げ、「休日保育の実施」を求めました。結果は、「サービスの拡大は困難ですが、重要課題と認識しておし、調査を行ないを判断して参ります」とのことでした。既に計画として示したものを、期中で変更することは困難ですが、子育て世代の立場に立って、実現に向けて努力してまいります。

## もっともっと 南吉を活かした街づくりを…

生誕百年を終えた「わがからも」…

平成25年の生誕百年行事以後も、多くの方に南吉記念館へ来館頂いています。全国から足を運んで頂いていることなどから、改めて「童話作家・新美南吉」の業績を感じています。今後も顕彰活動が継続され、多くの方に愛読して頂けることを願っています。

記念館の報告資料から、市外からの記念館来館が多数ある一方、市民の来館が少ないことがわかっています。

新美南吉が生まれた半田は、これからも読書好きの街であって欲しいと思います。多くの市民に南吉作品に触れて頂き、童話の面白さを知って頂きたいと思います。活字離れしていると言われる今こそ、「南吉を活かしたまちづくり」が必要だと思っています。



提供：新美南吉記念館



南吉の特別委員会を設置しました。優れたものに出会う機会は、人生を豊かにしてくれます。芸術・スポーツ・生活様式などあらゆる分野にその機会があります。「南吉童話」もその一つだと思います。

幼い頃から読み聞かせなどが盛んな街でありたい。そんな趣旨で「南吉を活かしたまちづくり」特別委員会を設置されました。半田ならではのまちづくりを目指してまいります。

ご意見などお寄せ下さい。Tel&fax:0569-58-0967 mail:y-koide@cac-net.ne.jp